



Compliance

コンプライアンス

基本方針

日鉄エンジニアリンググループは、コンプライアンスの実践・徹底が、経営の根幹であるとの認識のもと、事業活動のあらゆる場面において、不正を防止し、公正で透明性の高い事業活動を推進します。

1. 国内外の法令・社会規範を遵守するとともに、高い倫理観に基づき、誠実に判断し行動します。
2. 全てのステークホルダーの期待・要請に応え社会的責任を全うすることにより、社会から信頼される企業を目指します。
3. 教育・啓発活動を継続し、内部統制体制・環境を整備することにより、全社員のコンプライアンス意識の向上と健全な企業風土の確立・維持に努めます。



法令遵守と内部統制の強化

当社は、人権尊重、公正な取引、反社会的勢力との関係遮断などについて、社員一人ひとりが自覚を持って行動するため、「コンプライアンス基本方針」および「法令遵守マニュアル（概要編・詳細編）」を定め、実践しています。日本製鉄グループ全体で推進する「自律的内部統制」の基盤強化施策と歩調を合わせ、法令・社会規範遵守の徹底、高い倫理観に基づく誠実な判断・行動に努め、グループ各社の法令遵守、企業倫理の徹底、リスクマネジメントなどを管理・支援しています。

内部監査の実施

発現すれば経営に甚大な影響をおよぼしかねないリスクに重点を置いたテーマ別内部監査を実施するとともに、グループ会社・社内各部門に対する網羅的監査とJ-SOX監査も並行して継続実施しています。監査で確認した課題については、関係部門と連携して改善とフォローアップを進め、内部統制の実効性向上を図っています。

内部通報・相談窓口の整備・運用

内部通報・相談窓口を社内外に設置し、社員、家族、取引先などからの通報・相談を受け付けています。事故・事件、法令違反、ハラスメントの未然防止や業務改善に活用しており、2025年度の通報・相談は43件でした。内部通報制度従事者教育、eラーニング、啓発ポスターなどによる周知・教育も継続しています。

教育・啓発活動

階層別研修や法令遵守マニュアル説明会などを定期的に開催し、コンプライアンスに関する教育・啓発活動を継続しています。2025年度の独禁法遵守に関する研修では、社長メッセージの発信に加え、社外専門家（弁護士）によるWEB講習会とeラーニングを実施しました。さらに、重要法令の遵守、ハラスメント防止、情報セキュリティなどに関するeラーニングも毎年実施しています。



新入社員研修

内部統制・コンプライアンス意識調査

内部統制・コンプライアンス意識調査を3年に1回実施し、職場における内部統制やコンプライアンスの実態、社員の認識を把握しています。また、設問自体を教育・啓発の機会とし、内部統制活動・施策の改善にも活用しています（2023年度、第8回目を実施：回答者5,397名／回答率92.4%）。

2025年度eラーニング受講実績

	受講者数	受講率
独禁法・コンプライアンス	3,070 名	100.0 %
海外グループ会社向けコンプライアンス	1,248 名	96.5 %
建設業法遵守	1,181 名	99.8 %
取引適正化法遵守	4,282 名	100.0 %
ハラスメント・内部通報	3,556 名	99.8 %
情報セキュリティ	5,826 名	96.5 %

※ 研修ごとに研修頻度、対象範囲が異なる。